

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.116号> 2020年 11月1日 発行

ごあいさつ



刈谷市議会議員

温かな陽溜まりに、一陣の風が踊る姿を落ち葉が映し出す 晩秋の頃となりました。

さて、75年前に誕生した国連は基本的精神を盛り込んだ憲章を持ち、20世紀の大戦の惨害の記憶から学んだ、二度と世界規模の戦争を起こさず平和を守るという、願いを込めた組織でした。最も熱心に協力した

米国でしたが、時が移り近年世界に広まる自国第一主義が、国連を軽視する傾向に向かわせています。

アフリカや中東等の国々が加盟し各国の利害が複雑に絡む今日と言えども、真の安全確保はグローバルな団結と協力の上にこそあると信じます。世界が注目するアメリカ大統領選挙の行方が 気がかりな昨今です。

一方、新首相による初の所信表明では、2050年迄に温室効果ガス排出実質ゼロへの宣言が表明されました。未来に負の遺産を引継がぬよう着実な前進を望みます。

また、コロナ禍中の出生数大幅減少で少子化の急加速が不安な折、不妊治療の保険適用を迅速化し、安定した雇用の上に 家庭が築ける環境施策を切望します。

本市においても、雇用の確保や子育てしやすい環境づくりに向けた支援の充実に取り組んで参ります。

【後援会事務所】	
刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel	0566-36-3870
Fax	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp
HPアドレス	http://y110.jimdo.com



歳時記

11月 2日 (月) 秋土用の間日	澄み切った空の下、咲き競い香る菊花
3日 (火・祝) 文化の日	の小春日和もあれば、氷雨の午後も…晩
7日 (土) 立冬	秋は一幅の絵画のように、様々な色彩に
15日 (日) 七五三	煌めく景色と豊かな風情を見せています。
22日 (日) 小雪	熱い紅茶に心和む季節、早目の冬支度
23日 (月・祝) 勤労感謝の日	でゆとりを持って温かくお過ごし下さい。

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



幹線から少し離れた住宅街の外れに、こじんまりと整備された煉瓦の広場です。一本の木を囲んだサークル状のベンチは人待ち顔？さて、ここはどこでしょう？

10/1発行の<No.115>の答えは、浜町にたわに実った稲穂の光景でした。衣浦小学校グラウンドの裏手となる見晴らしの良いこの畦道は程好い広さで 朝夕のお散歩コースにピッタリ☆



"クラシック"への招待☆ (Chapter2)

クラシックの源とも言えるグレゴリオ聖歌に最初の変化が見られたのは、キリスト教が世俗化して行く12世紀。聖歌の音律を引き伸ばした声部の上に 優美な声部を加える等して芸術性を高めましたが、耳を楽しませる音楽は教えに反するという根強い禁欲的意識が有り、来るルネサンスの時代はそれを解放しました。

また 何世紀もの間 口伝によって伝えられた聖歌も、9~11世紀 ギリシャ語で(合唱を指揮する際)“合図や身振り”という意味の 初期の記譜法“ネウマ”が発展し、13世紀頃には 今の楽譜に近い4本の譜線を用いるようになりました。そして現代のドレミの音階が誕生するのは17世紀、バロックの時代を待つこととなります。

中世・ルネサンス時代は、現在使われる音楽理論が確立されるまで、永い時間をかけた試行錯誤の時代とも言えます。17世紀に入ると、オペラが作曲されるようになり、同時に始まるバロック時代は、音楽を神への捧げものだけでなく人間が楽しんで良いと考える時代の始まりともなりました。但し、世俗の楽しみとして音楽を享受できるのは王侯貴族に限られ、絶対王政の時代においてオペラは国王の権威を知らしめる為に上演、宮廷の花火大会や舟遊びを盛り立てました。

11月の行事予定

11月 2日 (月) 全ト政治センター幹事会
3日 (火) ユタカ議員協議会幹事会・研修会
13日 (金) ~15日 (日) 日本女性会議 in刈谷
18日 (水) 12月議会議案説明会
26日 (木) 11月臨時会

“まじめにコツコツ、
即行動”
頑張ります !!



10月のフットワーク

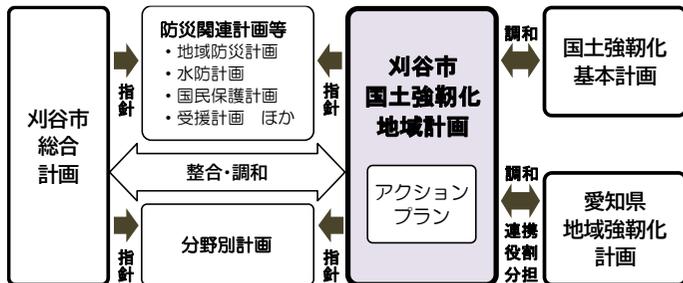
『刈谷市 国土強靱化計画』を紹介します。

南海トラフ地震等の発生が危惧されるとともに、近年頻発する集中豪雨や台風の巨大化などによる風水害の激甚化が懸念されています。

刈谷市国土強靱化地域計画は、本市の地域特性に応じ総合的かつ計画的に推進するための指針として、被害の縮小、持続的な成長・地域創生を目指す計画です。

【計画の位置づけ】

本計画は、国や県の計画と刈谷市総合計画との整合・調和のもと、強靱化の観点における本市の様々な分野の計画の指針となるもの。
(対象区域は刈谷市全域)



- 強靱化の基本目標**
- ① 市民の生命を最大限守る。
 - ② 地域及び社会の重要な機能を維持する。
 - ③ 市民の財産及び公共施設、産業・経済活動に係る被害の最小化。
 - ④ 迅速な復旧復興。

基本目標達成に向けては、本市の地域特性を踏まえ、8つの「事前に備えるべき目標」と、33の「起きてはならない最悪の事態」を設定し、評価した上で強靱化施策の推進方針を策定。

起きてはならない最悪の事態		強靱化施策の主な推進方針
備えるべき目標1：直接死を最大限防ぐ（1-1~1-5）		
1-1	住宅・建築物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生	■住宅・建築物の耐震化・減災化の促進 ■市公共施設等の耐震化等の推進・促進 ■交通施設等における脆弱性の解消 ■電柱等の脆弱性の解消等 ■継続的な防災啓発の推進 ■災害対応力の向上 ■消防団の充実強化の促進
1-2	住宅が密集している地域や不特定多数が集まる施設における大規模火災による多数の死傷者の発生	■火災に強いまちづくり等の推進 ■消防水利の確保や火災予防・被害軽減のための取組の推進 ■災害対応能力の向上 ■情報通信関係施策の推進 ■消防団の充実強化の促進
備えるべき目標8：社会・経済が迅速かつ従前より強靱に復興できる条件を整備する（8-1~8-8）		
8-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態	■災害廃棄物の仮置場の確保の推進 ■災害廃棄物処理計画の推進 ■ごみ焼却施設の災害対応力の強化等 ■災害廃棄物に含まれる有害物質の適正処理
8-2	復興を支える人材等（専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等）の不足、より良い復興に向けたビジョンの欠如等により復興できなくなる事態	■復旧・復興を担う人材等の育成 ■事前復旧・復興体制の構築 ■災害ボランティアの円滑な受入 ■円滑な遺体の処置に向けた体制等の確保

『刈谷市 自殺対策計画』を紹介します。

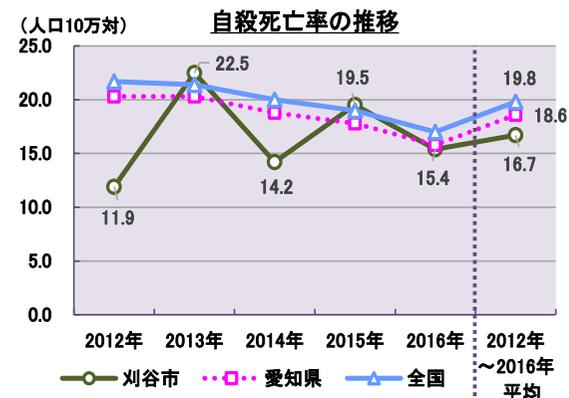
2016年に自殺対策基本法が改正され、全ての自治体において「地域自殺対策計画」を策定することとなりました。本市も現在までの取り組みを整理し、今後の自殺対策の方向性を示す「刈谷市自殺対策計画」を策定。（計画期間2019～2023年度）

【基本理念】 みんなの「生きる」を支え、あしたへつなぐまち「かいや」

市民がさまざまな困難に直面した場合に、一人で抱え込むのではなく、みんなで支え合い、誰も自殺に追い込まれることのない地域社会の実現を目指す。

【基本目標】 2023年度までに自殺死亡率を14.4以下へ減少させる

年度	自殺死亡率
2018	策定
2019	見直し
2023	見直し
2024～	次期計画



項目		指標	現状値 (2017年)	目標値 (2023年)
基本施策	1	地域におけるネットワークの強化	自殺対策計画推進委員会(仮称)開催数	未設置 2019年度設置 延べ5回以上開催
	2	自殺対策を支える人材の育成	ゲートキーパー養成者数	延べ395人 延べ900人
	3	市民への啓発と周知	市民意識調査の「気軽に相談できる人や場所がある」人の割合	66.5% (2016年) 73.0%
	4	生きることの促進 要因への支援	市民意識調査の「日頃から健康づくり活動を実践している」市民の割合 市民意識調査の「子どもを生み・育てやすいと思う」市民の割合	70.4% (2016年) 80.0% 79.1% (2016年) 80.0%
	5	児童生徒への教育	児童・生徒からの相談により、いじめを認知した割合 学校が楽しいと思う子どもの割合	24.6% 50.0% 89.0% (2016年) 91.0%
重点施策	1	働く世代への支援	事業所向け出張型こころの健康講座の実施事業所数	未実施 延べ25回
	2	高齢者への支援	地域サロン活動等補助事業登録団体数	16団体 30団体
	3	生活困窮者への支援	就労支援者数 ※ 就労者数 ※	56件/年 70件/年 37件/年 50件/年

※ 生活困窮、生活保護相談窓口での実数を示す